

キャンパス
万華鏡

地域貢献する大学¹

大学では、地域のニーズや課題に応えるべく地域と連携し課題解決にむけて、教育・研究を行い、地域社会の持続可能な発展に寄与している。日本私立大学協会の加盟大学に呼びかけ集まった活動を紹介する。



藤女子大学
(北海道)

藤女子大学人間生活学科(※)プロジェクトマネジメント専修の和田ゼミ(広報・コミュニケーションゼミ)に所属する学生3人が札幌商工会議所主催のプロジェクト「#SNSのスズメ」のコンペティション2024にて、ベストプレゼン賞を受賞。プロジェクトでは、札幌市内の企業と連携して採用公式Instagramを運用した。地元企業の実情を学びながら、学生目線を活かして企業の魅力や現場の声を発信し、当該企業の認知度・採用力向上に貢献した。※現:地域創生学科(2025年4月より名称変更)



産業能率大学
(神奈川県)

産業能率大学経営学部マーケティング学科の松尾尚ゼミで石巻魚市場買受人組合と協力し、「石巻のブランド価値を高め、地域創生に寄与する」というテーマでプロジェクトを行った。石巻のブランド価値向上を目指すプロモーション活動として、昨年10月に開催された「自由が丘女神まつり2024」にて、「石巻海鮮焼きそば」のブースの出店をし、ブースは連日大盛況となった。



山梨学院大学(山梨県)

山梨学院大学では、地域の自然環境保全という課題に応えるべく、スポーツ科学部の学生と留学生が山梨県本栖湖でのカヤック体験を通じた湖上ゴミ拾いを実施。大学独自の資金支援制度「学生チャレンジ制度」に採択され、国際交流とSDGsの視点を学びに取り入れた活動は、多文化共生と環境意識の醸成に寄与している。今後も学生主体の地域貢献型プロジェクトとしての発展が期待される。



千葉科学大学(千葉県)

「人を助けたいという人のための大学」を標榜する千葉科学大学では、学生が大学で培った専門知識を地域に還元する取り組みがある。その一例が、共助の循環備蓄「OSUSOWAKE」。これは、危機管理学部木村研究室の学生を中心に、地域と連携し、共助の重要性を伝え、人口減少が進む地域課題への貢献を目的とするもので、地域を超えた広がりを持つ新しい防災活動として、持続可能な共助モデルを他地域にも展開することを目指している。

共助のローリングストック
「OSUSOWAKE」



中部大学
(愛知県)

中部大学では、愛知県春日井市、UR都市機構と連携し、春日井市の高蔵寺ニュータウン内で地域貢献活動を行うことで、家賃割引や奨学金などの支援が受けられる地域連携住居制度を実施している。入居学生は、地域の夏祭りでの玉入れブース出展、親子で参加ができる「カルメ焼き教室」や「スライム実験教室」などを企画・運営し、地域貢献活動に励んでいる。所定の条件を満たすことで、春日井市長から優秀者認定証が授与される。

大学と高蔵寺ニュータウンが一体化



松蔭大学(神奈川県)

神奈川県厚木市・秦野市・伊勢原市・愛川町・清川村で構成される「県央やまなみ協議会」のロゴマークに、松蔭大学経営文化学部4年の高木健太さんが考案したロゴマークのデザインが採用された。同協議会は、5市町村間で観光振興などの連携を強化する協定を締結しており、県や民間企業、大学などが連携し、より広域的な取り組みを進めている。県央やまなみのブランド化と認知度向上を目的として、ロゴマークの制作が同大学に依頼。採用されたロゴデザインは、豊かな自然のある県央やまなみ地域を、木々をモチーフにシンプルに表現し、また英語表記もあり、国内外にも広く発信が可能となる。

地域の病院で実施している多数傷病者訓練(災害訓練)に、福岡県柳川市・みやま市消防本部とともに帝京大学福岡医療技術学部の学生が参加している。一次トリアージ役となった救急救命士コースの学生は日頃の実習の成果を発揮。傷病者役の学生も、普段の学びから想定される患者の容態をリアルに再現した。災害医療における情報の共有やテクノロジーの役割が重要であることを学びながら、地域医療との連携を含めた地域貢献に取り組んでいる。

地域の
災害訓練に参加

帝京大学
(福岡キャンパス)



中学生に
バスケの実技講習
江戸川大学(千葉県)

江戸川大学(千葉県流山市)の男女バスケットボール部では、地域の中学生を対象に「江戸川大学バスケットボールクリニック」を毎年開催している。実技と講義の2部制で、実技講習では部員たちがそれぞれ担当する生徒の熟達度に合わせてアドバイスを送るなど、各自で工夫をして指導。ミニ講義では、江戸川大学睡眠研究所による認知機能と睡眠の重要性を説く講義や、管理栄養士による栄養講義などを行っている。



地域の安全・安心の実現に
地域見守り活動
朝日大学(岐阜県)

朝日大学法学部には学生ボランティア団体「めぐる」がある。法学部刑事法研究室のゼミ活動として、地域の「盗犯MAP」を作成したことがきっかけとなり、2003年度から近隣地区における「地域の見守り活動」を始めた。その後も活動を継続し、2010年に「めぐる」の結成に至り、以降、警察や自治体などと連携し、防犯パトロールや環境美化活動、小学校でのサイバー防犯教室など、さまざまな地域活動を展開している。



神戸学院大学(兵庫県)

毎年秋に開催される神戸マラソンで、神戸学院大学は全学を挙げて大会運営をサポートしている。地域を支え共に成長するために2024年は当日450人以上の学生がボランティアで参加し、給水や救護、炊き出し、トイレ案内、固定AED隊など沿道や周辺で役割を果たした。また、多数の学生が出走し、女子の部では同大卒業生で、女子駅伝競走部主将も務めた小川那月さん(スズキアスリートクラブ)が優勝した。

宮城県東松島市野蒜海岸で
ビーチクリーン



東北文化学園大学(宮城県)

東北文化学園大学現代社会学部の1、2年生は、毎年5月に東日本大震災の津波による甚大な被害を受けた野蒜地域で、東松島市民団体H×Imagine(ひまじん)と一緒に海岸清掃活動を通じた防災学習をしている。被災地宮城の大学で学ぶ学生として、震災の教訓を忘れず、様々な災害が社会にもたらす影響や復興のための課題について理解を深める。地域との交流や体験を通じて、有事に自ら行動できる力を身に付け、大学生が地域のために何ができるか、チャレンジしている。